

経営体制と人事異動に関するお知らせ

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)は、以下の通り経営体制変更ならびに、人事異動を行います。

1. トップマネジメント体制について

◆新メディカル担当(CMO)の就任

2022年10月1日付で、新メディカル担当(Chief Medical Officer: CMO)に谷口 忠明が就任します。同氏は2022年7月1日付でアステラス製薬にエグゼクティブアドバイザーとして入社しました。国際的に研鑽を積んだ、がん領域を専門とする外科医であり、グローバル製薬企業において、シニアリーダーとして革新的な医薬品の研究開発および製品化の豊富な経験を有しています。就任後は、米国を拠点に勤務します。

なお、現メディカル担当(CMO)のBernhardt Zeiherは、2022年9月30日付で退任します。

◆経営管理・コンプライアンス担当(CAO & CECO)の人事・コンプライアンス担当(CPO & CECO)への名称変更と、人事・コンプライアンス担当(CPO & CECO)の就任

2022年10月1日付で経営管理・コンプライアンス担当(Chief Administrative Officer and Chief Ethics & Compliance Officer: CAO & CECO)の名称を、人事・コンプライアンス担当(Chief People Officer and Chief Ethics & Compliance Officer: CPO & CECO)に変更します。企業経営における人的資本への注目が高まっている中で、本ポジションが人材・組織に関わる変革を牽引する役割であるということを明確にすることが目的です。

人事・コンプライアンス担当(CPO & CECO)には、杉田 勝好が就任します。同氏は、製薬およびIT業界において人事部門のシニアリーダーポジションを歴任し、2021年5月にアステラス製薬に人事部門長として入社しました。入社後は、これまでの人事領域における豊富な経験と専門性を活かし、「経営計画 2021」で定めた組織健全性目標の実現に向けて、イノベーションや人材の活躍を促進してきました。

なお、現経営管理・コンプライアンス担当(CAO & CECO)の櫻井 文昭は、2022年9月30日付で退任します。

アステラス製薬の代表取締役社長 CEO の安川健司は、「櫻井氏と Zeiher 氏のこれまでの多大な貢献に心より感謝申し上げます。今後、谷口氏には、サイエンスの臨床応用の加速や開発候補品の充実などによって、患者さんへのさらなる『価値』提供につなげていただくことを期待しています。杉田氏には、これまでの人事領域における幅広いキャリアを活かし、引き続き組織健全性目標の達成に貢献いただけると確信しています。新しいリーダーシップ体制の下、一丸となって経営計画 2021 で定める各目標の達成を目指します」と述べています。

トップマネジメント体制 (2022 年 10 月 1 日付)

職位	氏名	新任
代表取締役社長 (CEO)	安川 健司	
代表取締役副社長 経営戦略担当 (CStO)	岡村 直樹	
販売統括担当 (CCO)	松井 幸郎	
研究担当 (CScO)	志鷹 義嗣	
財務担当 (CFO)	菊岡 稔	
法務担当 (GC)	Catherine Levitt	
製薬技術担当 (CMfgO)	嶋 秀樹	
メディカル担当 (CMO)	谷口 忠明	○
人事・コンプライアンス担当 (CPO & CECO)	杉田 勝好	○

2. 担当役員の異動 2022 年 10 月 1 日付

() 内: 現職

専務担当役員 メディカル担当 (エグゼクティブアドバイザー)

谷口 忠明

専務担当役員 人事・コンプライアンス担当 兼 人事部門長 (人事部門長)

杉田 勝好

3. 退任 2022 年 9 月 30 日付

専務担当役員 経営管理・コンプライアンス担当

櫻井 文昭

メディカル担当

Bernhardt Zeiher

(ご参考:新任の担当役員の略歴)

◆氏名 谷口 忠明 (たにぐち ただあき)

略歴

1991年6月 がん・感染症センター都立駒込病院 外科専門研修医
1996年11月 Molecular Pathology Unit, Imperial Cancer Research Fund,
Hammersmith Hospital, London クリニカルリサーチフェロー
2000年3月 万有製薬株式会社 入社
2004年1月 万有製薬株式会社 臨床開発研究所副所長 臨床担当
2006年3月 MSD株式会社 執行役員クリニカルサイエンス部門長
2011年10月 MSD China MSD China 開発戦略統括
2012年12月 ブリストルマイヤーズ株式会社 専務執行役員研究開発本部長
2015年4月 アストラゼネカ株式会社 取締役研究開発本部長
2019年1月 アストラゼネカ株式会社 専務取締役研究開発本部長
2019年11月 AstraZeneca PLC シニアバイスプレジデント、
グローバルメディカルアフェアーズ部門長がん領域担当
2021年12月 AstraZeneca PLC シニアバイスプレジデント、がん領域アジア戦略担当
2022年7月 当社 エグゼクティブアドバイザー(現職)

◆氏名 杉田 勝好(すぎた かつよし)

略歴

1991年4月 旭化成株式会社 入社
2002年4月 伊藤忠テクノロジーソリューションズ株式会社 入社
2003年9月 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 入社
2008年11月 日本ヒルティ株式会社 人事本部長
2012年8月 アストラゼネカ株式会社 執行役員 人事総務本部長
2016年7月 日本マイクロソフト株式会社 執行役員 常務 人事本部長
2021年5月 当社 人事部門長(現職)

以上

アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ/テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます (Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品 (Rx) 事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス (Rx+®) の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>) をご覧ください。

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品 (開発中のものを含む) に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

お問い合わせ先:

アステラス製薬株式会社
コーポレートアドボカシー&リレーションズ部
TEL: 03-3244-3201